

設問[8]: 設問[1]で選択した施設は、小児の重症救急患者の診療体制に役立っているか？

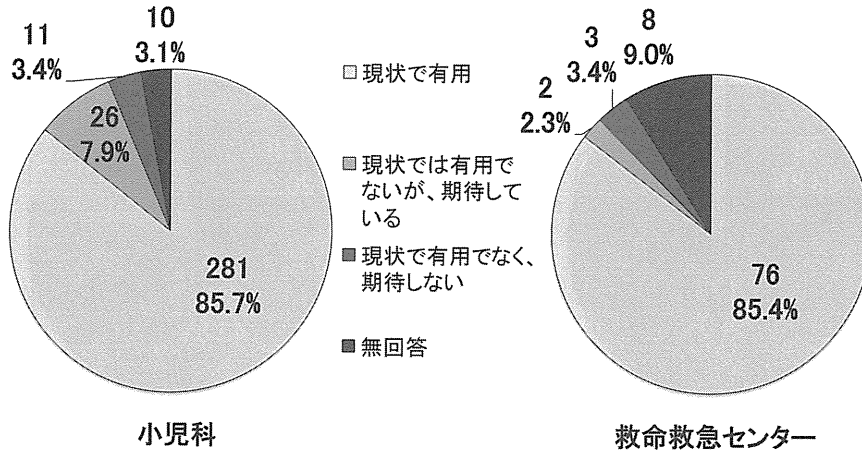


図 8 ; 設問 8 の小児科/救急別の回答比率

表11 ; 設問 9 の回答

設問[9]: 回答施設の属する2次医療圏において、小児重症救急患者の診療体制の整備状況は充分か？

設問[9]		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	充分とは言えない	262	79.9%	65	73.0%	3	100.0%	330	78.6%
2	充分である	50	15.2%	15	16.9%	0	0.0%	65	15.5%
3	わからない・情報がない	14	4.3%	9	10.1%	0	0.0%	23	5.5%
	無回答	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%
	合計	328	-	89	-	3	-	420	-

設問[9]: 回答施設の属する2次医療圏において、
小児重症救急患者の診療体制の整備状況は充分か？

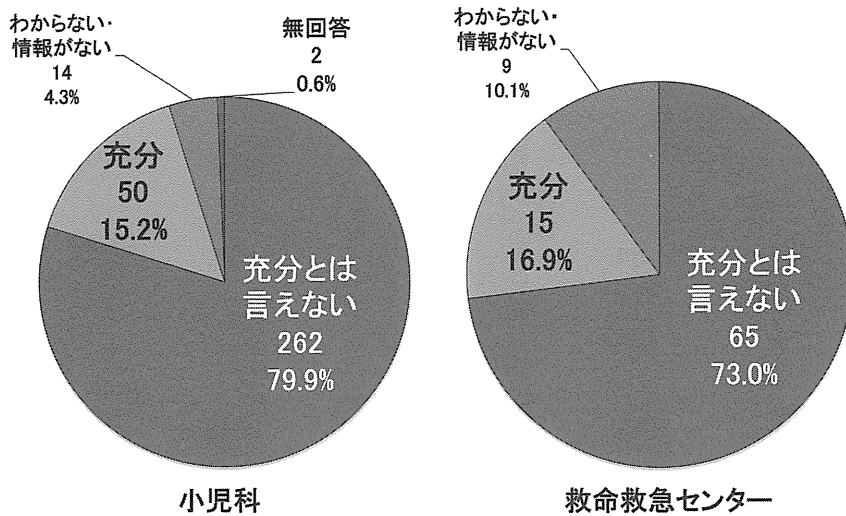


図9；設問9の小児科/救急別の回答比率

表12；設問A-1の回答

設問[A-1]: 設問[9]で“1. 充分とは言えない”を選択した施設が回答。
不十分と考える理由は何か？(複数回答可)

設問[A-1]		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	小児重症救急患者に対する病院前救護処置が不十分である	82	31.3%	21	32.3%	1	33.3%	104	31.5%
2	小児重症救急患者に対する病院前の搬送先選定が不適切である	54	20.6%	13	20.0%	0	0.0%	67	20.3%
3	小児重症救急患者に対応する施設が不足している	174	66.4%	49	75.4%	3	100.0%	226	68.5%
4	小児重症救急患者の病院間搬送体制が未確立である	116	44.3%	26	40.0%	1	33.3%	143	43.3%
5	その他	57	21.8%	16	24.6%	0	0.0%	73	22.1%
	無回答	1	0.4%	1	1.5%	0	0.0%	2	0.6%
	A-1に分岐した施設	262	-	65	-	3	-	330	-

設問[A-1]:設問[9]で“1. 充分とは言えない”を選択した施設が回答。不十分と考える理由は何か？(複数回答可)

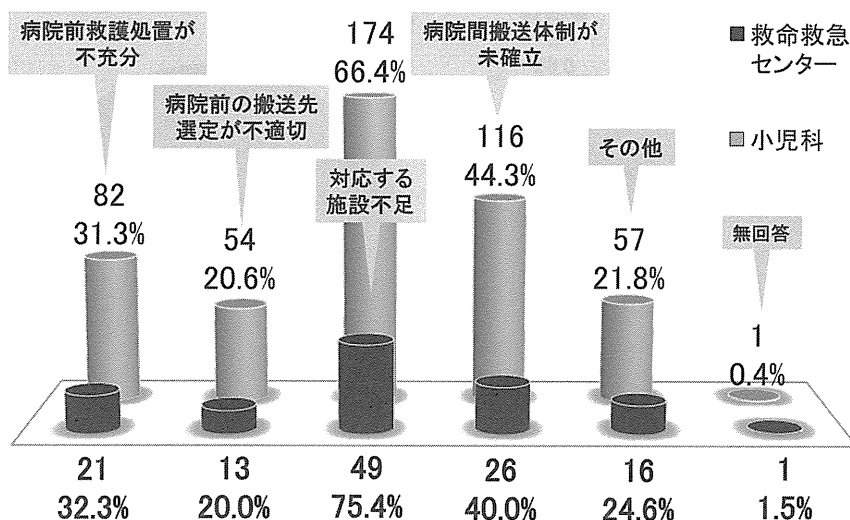


図10；設問A-1の小児科/救急別の回答比率

表13；設問A-2の回答

設問[A-2]:設問[9]で“1. 充分とは言えない”を選択した施設が回答。回答施設の属する2次医療圏において、小児重症救急患者の診療体制の整備のために、どのような施設の造設/拡充が望ましいか？(複数回答可)

設問[A-2]	小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1 現存救命救急センターの小児患者対応・病院間搬送応需体制の拡充	149	56.9%	44	67.7%	1	33.3%	194	58.8%
2 現存PICUの重症救急患者対応・病院間搬送応需体制の拡充	67	25.6%	21	31.3%	1	33.3%	89	27.0%
3 救命救急センター・PICUともない大学病院への新規ユニット造設	42	16.0%	10	15.4%	0	0.0%	52	15.8%
4 現状で重症救急診療に対応していない小児専門施設への新規ユニット造設	25	9.5%	10	15.4%	1	33.3%	36	10.9%
5 その他の救命救急センター・PICUともない施設への新規ユニット造設	27	10.3%	4	6.2%	0	0.0%	31	9.4%
6 施設の造設/拡充などは不要	3	1.2%	1	1.5%	0	0.0%	4	1.2%
7 その他	27	10.3%	3	4.6%	0	0.0%	30	9.1%
無回答	6	2.3%	2	3.1%	0	0.0%	8	2.4%
A-2に分岐した施設	262	-	65	-	3	-	330	-

設問[A-2]:設問[9]で“1. 充分とは言えない”を選択した施設が回答。
 回答施設の属する2次医療圏において、小児重症救急患者の診療体制の整備のために、どのような施設の増設/拡充が望ましいか？(複数回答可)

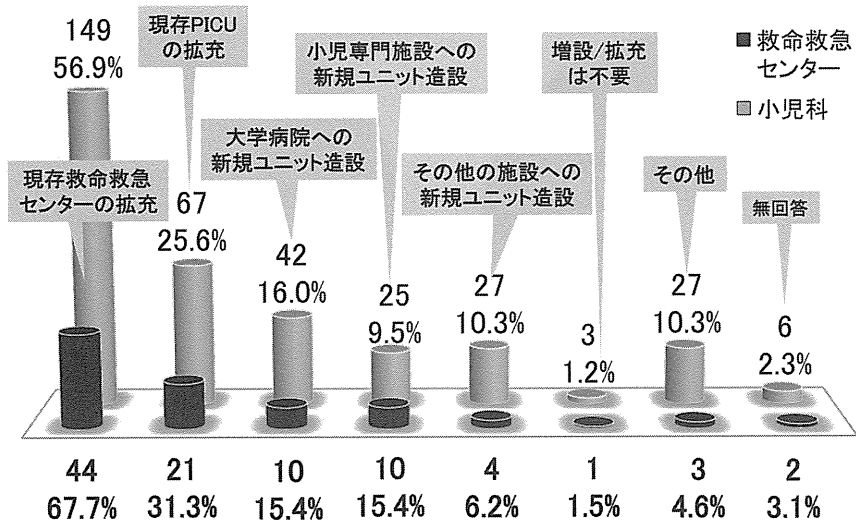


図11；設問A-2の小児科/救急別の回答比率

表14；設問A-3の回答

設問[A-3]:設問[A-2]で「小児専門施設以外での造設/拡充」を選択した施設の回答した、「どのような形態の施設の造設/拡充が望ましいか？」

設問[A-3]	小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1 小児患者のみを扱うユニット	127	64.5%	22	44.9%	1	100.0%	150	60.7%
2 成人患者との混合ユニット	67	34.0%	27	55.1%	0	0.0%	94	38.1%
無回答	3	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
A-3に分岐した施設	197	-	49	-	1	-	247	-

設問[A-3]:設問[A-2]で「小児専門施設以外での造設/拡充」を選択した施設の回答した、「どのような形態の施設の造設/拡充が望ましいか？」

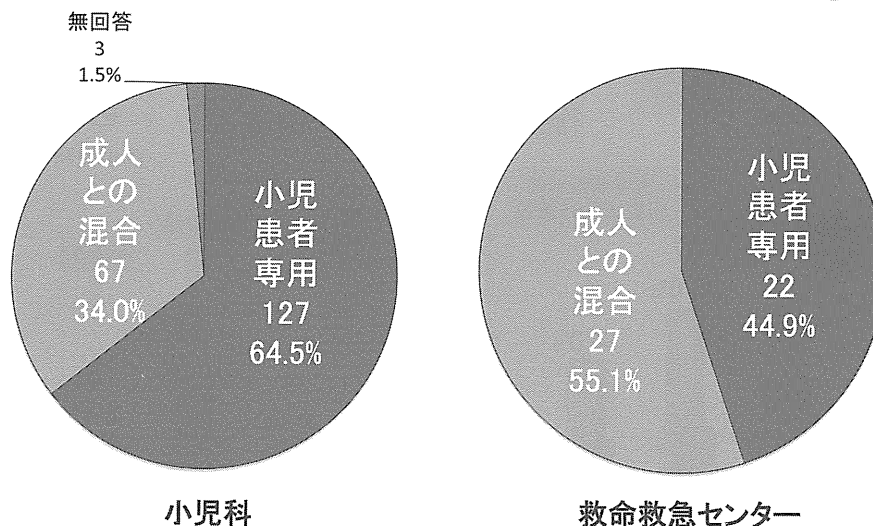


図12；設問 A-3 の小児科/救急別の回答比率

表15；設問 A-2・3 の回答のまとめ

設問[A-2]・[A-3]のまとめ
 どのような形態の施設の造設/拡充が望ましいか？

設問[A-2]・[A-3]総計		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	小児患者のみを扱う ユニット	168	64.1%	35	53.0%	3	100.0%	206	62.2%
2	成人患者との 混合ユニット	61	23.3%	23	34.9%	0	0.0%	84	25.4%
3	両方 (※設問の設定は択一)	6	2.3%	4	6.1%	0	0.0%	10	3.0%
4	増設/拡張充分は 必要ない	2	0.8%	1	1.5%	0	0.0%	3	0.9%
5	その他	16	6.1%	1	1.5%	0	0.0%	17	5.1%
	無回答	9	3.4%	2	3.0%	0	0.0%	11	3.3%
	総計	262	-	66	-	3	-	331	-

設問[A-2]・[A-3]のまとめ
 どのような形態の施設の造設/拡充が望ましいか？

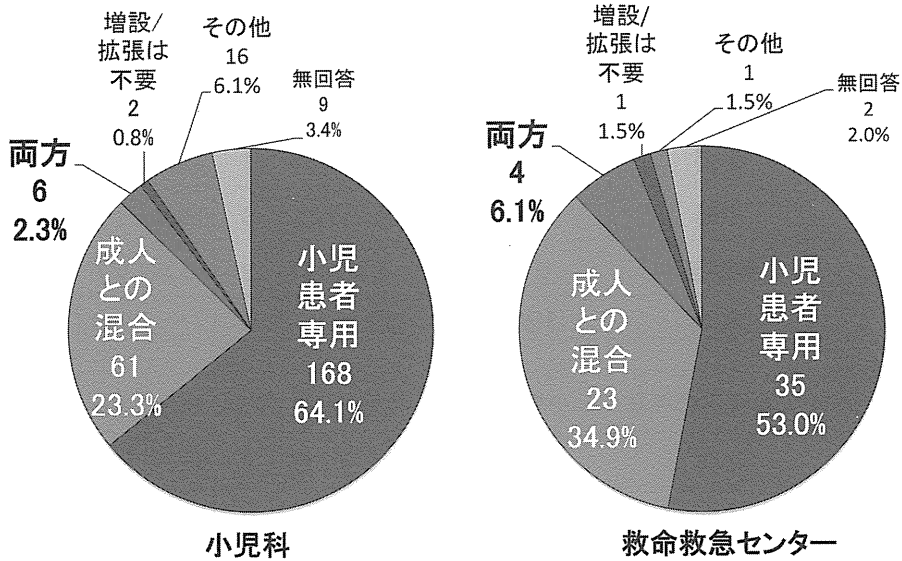


図13；設問A-2・3の小児科/救急別の回答のまとめ

表16；設問A-4-1の回答

設問[A-4]:設問[A-2]で“2.”または“4.”を選択、または設問[A-3]で「小児患者のみを扱うユニット」を選択した施設が回答。
 小児ユニットのあるべき姿について-病床数

[A-4-1]病床数		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	10床以上	50	27.6%	14	35.9%	1	33.3%	65	29.2%
2	6-9床	51	28.2%	9	23.1%	0	0.0%	60	26.9%
3	4-5床	31	17.1%	9	23.1%	1	33.3%	41	18.4%
4	2-3床	24	13.3%	4	10.3%	0	0.0%	29	13.0%
	無回答	24	13.3%	3	7.7%	1	33.3%	28	12.6%
	合計	180	-	39	-	3	-	223	-

表17；設問A-4-2・3の回答

設問[A-4]:設問[A-2]で“2.”または“4.”を選択、または設問[A-3]で「小児患者のみを扱うユニット」を選択した施設が回答。

小児ユニットのあるべき姿について-独立看護単位 および 専従医の存在の必要性

[A-4-2]独立看護単位		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	必要	146	80.7%	32	82.1%	1	33.3%	179	80.3%
2	不要	13	7.2%	3	7.7%	0	0.00%	17	7.6%
	無回答	21	11.6%	4	10.3%	2	66.7%	27	12.1%
	合計	180	-	39	-	3	-	223	-
[A-4-3]専従医の存在		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	必要	154	85.1%	34	87.2%	2	66.7%	190	85.2%
2	不要	7	3.9%	1	2.6%	0	0.0%	9	4.0%
	無回答	19	10.5%	4	10.3%	1	33.3%	24	10.8%
	合計	180		39		3		223	-

表18；設問A-4-4の回答

設問[A-4]:設問[A-2]で“2.”または“4.”を選択、または設問[A-3]で「小児患者のみを扱うユニット」を選択した施設が回答。

小児ユニットのあるべき姿について-専属医の専門性

[A-4-4]専属医の専門性		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	救急科	104	57.8%	22	56.4%	1	33.3%	128	57.4%
2	麻酔科	77	42.8%	12	30.8%	1	33.3%	91	40.8%
3	集中治療科	111	61.3%	27	69.2%	1	33.3%	139	62.3%
4	小児外科	110	60.8%	23	59.0%	2	66.7%	135	60.5%
5	小児科	151	83.9%	35	89.7%	2	66.7%	189	84.8%
	無回答	18	9.9%	3	7.7%	1	33.3%	22	9.9%
	A-4に分岐した人	180	-	39	-	3	-	223	-

表19；設問A-5-1・2の回答

設問[A-5]:設問[A-3]で「成人患者との混合ユニット」を選択した施設が回答。
混合ユニットのあるべき姿について-独立看護単位 および 専従医の存在の必要性

[A-5-1]独立看護単位		小児科	割合	救急	割合	合計	割合
1	必要	53	79.1%	20	74.1%	73	77.7%
2	不要	11	16.4%	6	22.2%	17	18.1%
	無回答	3	4.5%	1	3.7%	4	4.3%
	合計	67	-	27	-	94	-

[A-5-2]専従医の存在		小児科	割合	救急	割合	合計	割合
1	必要	59	88.1%	25	92.6%	84	89.4%
2	不要	6	9.0%	1	3.7%	7	7.5%
	無回答	2	3.0%	1	3.7%	3	3.2%
	合計	67	-	27	-	94	-

表20；設問A-5-3の回答

設問[A-5]:設問[A-3]で「成人患者との混合ユニット」を選択した施設が回答。
混合ユニットのあるべき姿について-専属医の専門性

[A-5-3]専属医の専門性		小児科	割合	救急	割合	合計	割合
1	救急科	46	68.7%	23	85.2%	69	73.4%
2	麻酔科	32	47.8%	10	37.0%	42	44.7%
3	集中治療科	47	70.2%	18	66.7%	65	69.2%
4	小児外科	33	49.3%	11	40.7%	44	46.8%
5	小児科	58	86.6%	24	88.9%	82	87.2%
	無回答	2	3.0%	0	0.0%	2	2.1%
	A-5に分岐した人	67	-	27	-	94	-

表21；設問A-6の回答

設問[A-6]: 設問[A-2]で「造設/拡充」を選択した施設の回答。
 ユニットの造設/拡充の障害となる要因は何か？(複数回答可)

設問[A-6]		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	自治体の理解がない	58	24.4%	13	21.3%	1	33.3%	72	24.0%
2	自治体に財源がない	123	51.7%	28	45.9%	2	66.7%	153	51.0%
3	地域医療の指導者層の理解がない	45	18.9%	7	11.5%	0	0.0%	52	17.3%
4	専門医がいない	136	57.1%	33	54.1%	2	66.7%	171	57.0%
5	医師・看護師等スタッフが少ない	163	68.5%	47	77.1%	1	33.3%	211	70.3%
6	広域医療搬送システムがない	57	24.0%	5	8.2%	0	0.0%	62	20.7%
7	その他	30	12.6%	15	24.6%	0	0.0%	45	15.0%
	無回答	15	6.3%	2	3.3%	1	33.3%	18	6.0%
	A-6に分岐した人	238	-	61	-	3	-	300	-

設問[A-6]: 設問[A-2]で「造設/拡充」を選択した施設の回答。
 ユニットの造設/拡充の障害となる要因は何か？

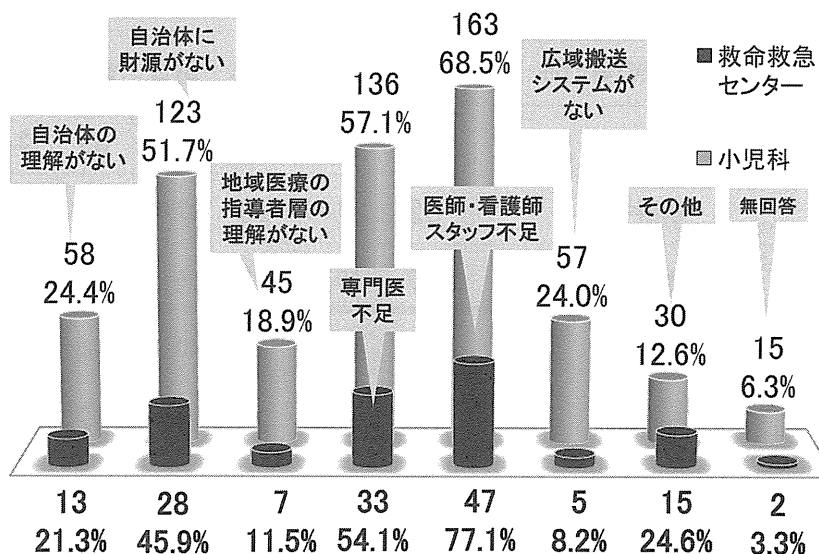


図14；設問A-6の小児科/救急別の回答

表22；設問B-1の回答

設問[B-1]:本邦の小児の重症救急医療に関して、PICUに関わる賛否両論をはじめとした自由意見。

設問[B-1]		小児科	割合	救急	割合	不明	割合	合計	割合
1	PICUに好意的な意見	50	28.7%	18	36.7%	1	100.0%	69	30.8%
2	地域の実情にあわせた計画が必要とする意見	42	24.1%	6	12.2%	0	0.0%	48	21.4%
3	PICUに否定的、設立に消極的な意見	11	6.3%	1	2.0%	0	0.0%	12	5.4%
	その他	71	40.8%	24	49.0%	0	0.0%	95	42.4%
	B-1回答者数	174	-	49	-	1	-	224	-

設問[B-1]:本邦の小児の重症救急医療に関して、PICUに関わる賛否両論をはじめとした自由意見。

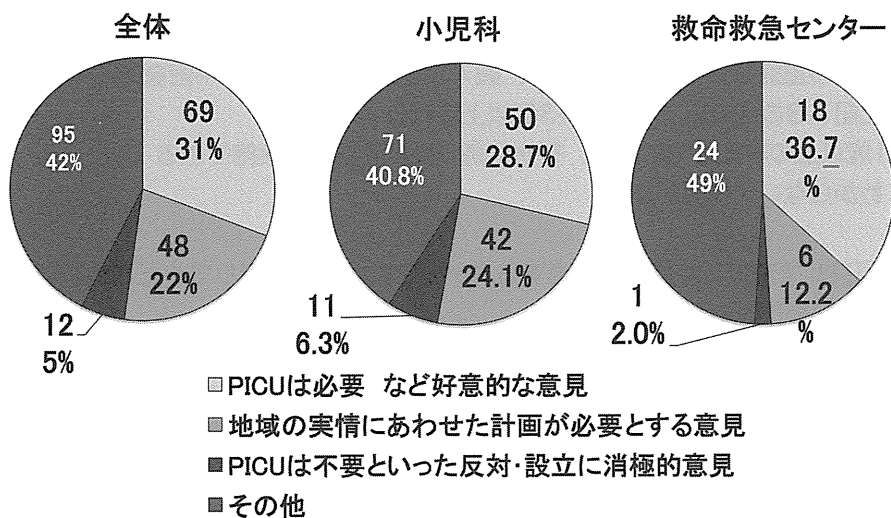


図15；設問B-1の小児科/救急別の回答

アンケート用紙

貴医療機関・診療科名 必須 ()
先生のお名前 任意 ()
先生のお肩書き 任意 ()

小児の重症救急患者の診療体制につき、下記に御回答ください。
(各御施設における 院内急変 や 周術期管理 につきましては 除外 して御回答ください)

設問 [1]: 貴院の属する2次医療圏で、小児の重症救急患者の診療を もっとも 行っている施設を1つ選んでください。

- 1. 救命救急センター
- 2. PICU (小児集中治療室)
- 3. 上記 1-2 が設置されていない大学病院
- 4. 上記 1-2 が設置されていない小児専門施設
- 5. その他 ()
- 6. わからない・情報がない

設問 [2]: 設問 [1] で選択した施設は、貴院 または 貴院以外の施設 のどちらですか？

- 1. 貴院
- 2. 他施設

設問 [3]: 設問[1] で選択した施設で可能な診療につき、以下から選択してください。(複数回答可)

- 1. 新生児・乳児の救急症例に対し、搬入後90分以内に急性血液浄化療法を導入できる
- 2. 新生児・乳児の救急症例に対し、搬入後90分以内に体外補助循環*を導入できる
(* PCPS, VA/VV ECMOなど)
- 3. 乳児の重症頭部外傷症例に対し、搬入後2時間以内に開頭手術を開始できる
- 4. 上記1-3の全てにつき、年間3例以上施行している
- 5. 1歳以上の救急症例に対し、有効な高頻度振動換気を実施できる
- 6. わからない・情報がない

設問 [4]: 設問[1] で選択した施設に従事するスタッフにつき、選択してください。(複数回答可)

- 1. 救急科専門医もしくは指導医
- 2. 麻酔科専門医もしくは指導医
- 3. 集中治療専門医
- 4. 小児外科専門医
- 5. 小児科専門医
- 6. 以上のいずれでもない
- 7. わからない・情報がない

設問 [5]: 設問[1] で選択した施設は、災害救急医療 にどのような状況でも迅速に応需できますか？

- 1. できる
- 2. できない
- 3. わからない・情報がない

次頁にお進み下さい。

設問 [6-1]: 設問[1] で選択した施設の 搬送体制 はいかがでしょうか? (複数選択可)

- 1. ドクターカーを運用
- 2. ドクターヘリを運用
- 3. ヘリポートを運用
- 4. いずれも運用していない
- 5. わからない・情報がない

設問 [6-2]: 設問[1] で選択した施設の、小児重症救急患者搬送への応需状況はいかがでしょうか?

- 1. 現場からの直送の受け入れ (複数選択可)
- 2. 病院間搬送 (2次医療圏内から) の受け入れ
- 3. 病院間搬送 (2次医療圏外から) の受け入れ
- 4. 他の高次施設 (2次医療圏外) への搬出
- 5. いずれも運用していない
- 6. わからない・情報がない

設問 [7]: 設問[1] で選択した施設への、小児重症救急患者の搬送基準は、2次医療圏内で定められていますか? 1つ選んでください。

- 1. 適切なものが策定・運用されている
- 2. 適切なものが策定されているが 運用 に問題がある
- 3. 策定されているが 内容 に問題がある
- 4. 策定されていない
- 5. わからない・情報がない

設問 [8]: 設問[1] で選択した施設は、小児の重症救急患者の診療体制に役立っているとお考えですか? 1つ選んでください。

- 1. 現状において役立っている
- 2. 現状において役立っていないし、今後も期待しない
- 3. 現状において役立っていないが、今後に期待している
→ その場合の改善点を下記にお書きください。

設問 [9]: 貴院の属する 2次医療圏において、小児重症救急患者の診療体制の整備状況は充分であるとお考えですか? 1つ選んで下さい。

- 1. 充分とは言えない → 設問 [A-1] へ
- 2. 充分である → 設問 [B-1] へ
- 3. わからない・情報がない → 設問 [B-1] へ

アンケート用紙3枚目にお進み下さい 設問 [A-1]は3枚目冒頭(P94) [B-1]は4枚目最後(P95)です。

設問 [A-1]: 設問 [9] で “1. 充分とは言えない” を選択された方のみ御回答ください。

不十分とお考えになる理由はなんですか？ (複数回答可)

- 1. 小児重症救急患者に対する病院前救護処置が不十分である
- 2. 小児重症救急患者に対する病院前の搬送先選定が不適切である
- 3. 小児重症救急患者に対応する施設が不足している
- 4. 小児重症救急患者の病院間搬送体制が未確立である
- 5. その他 (以下に詳細をお書きください)

設問 [A-2]: 設問[9]で “1. 充分とは言えない” を選択された方のみ御回答ください。

貴院の属する2次医療圏において、小児重症救急患者の診療体制の整備のために、

どのような施設の増設/拡充が望ましいとお考えですか？ (複数回答可)

- 1. 現存救命救急センターの 小児患者対応・病院間搬送応需体制の拡充 →設問 [A-3] へ
- 2. 現存 PICU の 重症救急患者対応・病院間搬送応需体制の拡充 →設問 [A-4] へ
- 3. 救命救急センター・PICUとともない大学病院への新規ユニット造設 →設問 [A-3] へ
- 4. 現状で重症救急診療に対応してない小児専門施設へ新規ユニット造設 →設問 [A-4] へ
- 5. その他の救命救急センター・PICUとともない施設への新規ユニットの造設
→設問 [A-3] へ
- 6. 施設の増設/拡充などは不要 →設問 [B-1] へ
- 7. その他 (以下に詳細をお書きください) →設問 [B-1] へ

設問 [A-3]: 設問[A-2] で “1, 3, 5.” を選択された方のみ御回答ください。

増設/拡充するユニットは、どのような形態が望ましいとお考えですか？ 1つ選んでください。

- 1. 小児患者のみを扱うユニット →設問 [A-4] へ
- 2. 成人患者との混合ユニット →設問 [A-5] へ

設問 [A-4]: 設問[A-2] で “2.” または “4.” を選択された方、

または設問 [A-3] で “1. 小児患者のみを扱うユニット” を選択された方のみ御回答ください。

先生がお考えになる 小児ユニットのあるべき姿につき、下記項目のいずれかを選択して下さい。

[A-4-1] 病床数； 1. 10床以上 2. 6-9床 3. 4-5床 4. 2-3床

[A-4-2] 独立看護単位； 1. 必要 2. 不要

[A-4-3] 専従医の存在； 1. 必要 2. 不要

[A-4-4] 専属医の専門性 (複数選択可) ；

- 1. 救急科 2. 麻酔科 3. 集中治療科
- 4. 小児外科 5. 小児科

以上に御回答のうえ、設問 [A-6] へ進んでください。

設問 [A-5]: 設問 [A-3] で“2. 成人患者との混合ユニット”を選択された方のみ御回答ください。
先生がお考えになる ユニットのありべき姿につき、下記項目のいずれかを選択して下さい。

[A-5-1] 独立看護単位； 1. 必要 2. 不要

[A-5-2] 専従医の存在； 1. 必要 2. 不要

[A-5-3] 専属医の専門性（複数選択可）；

1. 救急科

2. 麻酔科

3. 集中治療科

4. 小児外科

5. 小児科

以上に御回答のうえ、設問 [A-6] へ進んでください。

設問 [A-6]: 設問 [A-2] で“1.2.3.4.5.”を選択された方のみ御回答ください。

ユニットの増設/拡充の障害となる要因は何でしょうか？（複数回答可）

1. 自治体の理解がない

2. 自治体に財源がない

3. 地域医療の指導者層の理解がない

4. 専門医がいない

5. 医師・看護師等スタッフがいない

6. 広域医療搬送システムがない

7. その他（以下に詳細をお書きください）

設問 [B-1]: 最後に、わが国の小児の重症救急医療に関して、PICU に関わる賛否両論はじめ、自由な御意見を是非お聞かせください。

以上です。お忙しい中、ご協力誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

Ⅲ. 平成23年度保科班班員および協力者名簿

(順不同)

- 研究代表者：保科 清 ((社)日本小児科医会会長 国際医療福祉大学教授)
- 研究分担者：桑原正彦 ((社)日本小児科医会副会長 医療法人唐淵会桑原医院)
- 研究分担者：渡部誠一 ((社)日本小児科医会小児救急委員会委員長 土浦協同病院)
- 研究協力者：山中 樹 ((社)日本小児科医会常任理事 医療法人社団山中たつる小児科)
- 研究協力者：石井正三 ((社)日本医師会常任理事)
- 研究協力者：洪 愛子 ((社)日本看護協会常任理事)
- 研究協力者：松井 陽 (国立成育医療研究センター病院長)
- 研究協力者：衛藤 隆 ((社)日本小児保健協会会長)
- 研究協力者：佐々木昌弘 (広島県健康福祉局局長)
- 研究協力者：山崎嘉久 (あいち小児保健医療総合センター)
- 研究協力者：市川光太郎 ((社)日本小児科学会小児救急委員会委員長)
- 研究協力者：清澤伸幸 ((社)日本小児科学会小児救急担当理事)
- 研究協力者：橋本康男 (広島県地域政策局国際部長)
- 研究協力者：沼口俊介 ((社)東京都小児科医会副会長)
- 研究協力者：杉原雄三 ((社)広島県小児科医会理事)
- 研究協力者：広野優子 (ERテレフォンクリニック代表)
- 研究協力者：白石裕子 ((社)日本看護協会看護研修センター)
- 研究協力者：福井聖子 ((社)大阪府小児科医会理事)
- 研究協力者：平林優子 (聖路加看護大学准教授 (小児看護学))
- 研究協力者：前田健次 (パナソニック健康保険組合パナソニック健康管理センター)

PICU

- 研究協力者：植田育也 (静岡県立子ども病院小児集中治療センター)
- 研究協力者：清水直樹 (東京都立小児総合医療センター集中治療部医長)

- オブザーバー：長谷川 学 (総務省消防庁救急企画室救急専門官)
- オブザーバー：丸尾 豊 (総務省消防庁救急企画室事務官)
- オブザーバー：井上誠一 (厚生労働省医政局指導課長)
- オブザーバー：佐久間 敦 (厚生労働省医政局指導課救急・周産期医療対策室長)
- オブザーバー：一戸和成 (厚生労働省医政局指導課補佐)
- オブザーバー：長屋総一郎 (厚生労働省医政局指導課救急・周産期医療対策室専門官)
- オブザーバー：熊田啓介 (厚生労働省医政局指導課救急・周産期医療対策室専門官)
- オブザーバー：石黒満久 ((株)NTTデータ 保健医療ビジネス事業部課長)

研究協力者（広島）

研究協力者：宇津宮仁志（広島県医療政策課課長）
研究協力者：岸本益実（広島県健康対策課課長）
研究協力者：齋藤厚子（広島県健康増進担当監）
研究協力者：山根多美子（広島県こども家庭課課長）
研究協力者：渡辺慎一（広島県医療政策課）
研究協力者：烏帽子田 彰（広島大学教授（公衆衛生学））
研究協力者：江原 朗（広島国際大学教授）
研究協力者：小代貴美子（(株)NTTデータ中国）
研究協力者：真鍋誠悟（(株)NTTデータ中国）

研究協力自治体等

全国衛生部長会

千葉県

静岡県

福島県

宮城県

山形県

長崎県

福岡県

広島県

協力企業

ダイヤルサービス株式会社

T-PEC株式会社

株式会社NTTデータ

株式会社NTTデータ中国

Ⅳ. 研究結果の刊行に関する一覧表

1. 平成23年度厚労科研保科班最終報告会 記録集
2. 「小児救急電話相談テキスト」補遺 子どもの放射線被曝に関する相談対応テキスト」

Ⅴ. 資料

1. 小児救急医療電話相談（#8000）に係る実施状況調査結果
2. 科研保科班 #8000 広島会議 第1回議事録
3. 科研保科班 #8000 広島会議 第2回議事録
4. 東日本大震災被災地3県及び近県の#8000連携の可能性についての研究会 議事録
5. 平成23年度 第1回全体会議 議事録
6. 平成23年度 第2回全体会議 会議録
7. 平成23年度 第3回全体会議 議事録
8. 長崎県の小児救急電話相談事業について
9. 福島県の#8000
10. 小児救命救急事業のあり方に関する基礎調査研究

資料 1 小児救急医療電話相談（#8000）に係る実施状況調査結果

小児救急医療電話相談（#8000）に係る
実施状況調査結果

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ中国

平成 24 年 2 月

目 次

1	調査の概要	106
(1)	調査目的	106
(2)	調査対象	106
(3)	調査項目	106
2	調査結果	107
【問 1】	事業開始年度	107
【問 2】	実施方法	108
【問 3】	委託（直営及び委託を含む）の場合の委託先	108
【問 4】	相談体制について	108
(1)	回線数	108
(2)	年間の実施予定日数	109
(3)	相談時間帯及び相談者の職種	110
(4)	相談員等報酬	113
(5)	相談員の募集方法	113
【問 5】	相談件数	115
(1)	平成 22 年度相談等件数	115
(2)	平成 23 年度の相談件数（震災後の変化）	116
(3)	相談件数の年次推移	117
【問 6】	運営委員会（仮称）について	118
(1)	運営委員会の有無	118
(2)	「有」の場合、開催回数（年間予定）	118
(3)	構成員及び人数	119
【問 7】	広報	119
【問 8】	運営経費	120
【問 9】	小児医療体制との連携等	120
【問 10】	事業効果について	120
(1)	保護者の不安解消	120
(2)	小児救急医療現場の負担軽減	121
(3)	検証方法（「効果の有無」を判断した根拠）	122
(4)	事業効果判定を行った資料有無	123